

【総合的な学習の時間】 第22・23回授業 指導案

芝浦工業大学柏中学高等学校 探究科

1. 単元名 探究計画（プラン発表と制作に向けた実践的計画の策定）

2. 本時の概要

本時は、前時までに構築したプロジェクトの構想を基に、チームによる「1分プラン発表」を行って客観的なフィードバックを得るとともに、次時からの本格的な制作始動に向けた「探究計画書」を完成させる100分（50分×2コマ）の授業である。単なる工作の予定表ではなく、社会的背景に根ざした「課題解決のための探究計画」として論理性を深めることをねらいとしている。

前半（1時限目）は、「LIFEログ」による自己リフレクションを行った後、各チームが「解決したい課題」と「解決策」を1分間でクラスの前に宣言するプラン発表を実施し、他者との共有を通じてアイデアの根拠を再確認する。その後、前時の構想シートの要素を「背景」「目的」「作品の概要」として探究計画書へリライトし、仕様を具体化させる。

後半（2時限目）は、制作に必要な技術や仕組みについて「問い」を立てて調べる情報収集と、詳細な「制作準備リスト」の作成に取り組む。現地へ郵送する観点から「成果物を小さめに作る」という現実的な制約を意識させつつ、4つの調達区分に基づいて材料の手配や役割分担を明確にさせる。

これらの活動を通して、自らの思考を論理的に説明し具現化する表現力と、見通しを持って協働的にプロジェクトを遂行する自律的活動力を養うため、本時を設定した。

3. 本時の目標

- リフレクションによる思考の蓄積（自律的活動力に関わる目標）：

LIFEログを活用し、日々の探究活動における主観的な気づきや学びのプロセスを、具体的な言葉でスクールタクト上に記述・蓄積できる。

- 論理の構築とプロジェクトの他者発信（表現力・協働性に関わる目標）：

自分たちのプランの意義と解決策を1分間で論理的に発表し、他者からの問いや助言を意識しながら「背景・目的・概要」を探究計画書へ具体的に落とし込める。

- 制約条件を考慮した実践的計画の策定（問題解決力に関わる目標）：

制作に必要な知識の問い立て・情報収集を行い、郵送時のサイズ制限等の制約を考慮しながら、材料の調達区分や役割分担を明確にした準備リストを作成できる。

4. 本時の準備・使用教材・参考文献

- 教員用提示資料：

- 授業スライド 第22・23回

- 使用教材（副教材）：

- 岡本尚也(2019)『課題研究メソッド Start Book』新興出版社啓林館

- 生徒用配布プリント:

- 探究計画書

5. 本時の展開(100分:50分×2コマ / 中間休憩10分)

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
【1時限目】		
1分	① 本時の流れの説明 スライドに基づき、本時の全体の流れ(1)LIFEログ、(2)探究計画・プラン発表)を確認する。	100分間の全体タスク(発表・計画書リライト・準備リスト)を意識させ、見通しを持たせて簡潔に説明する。
9分	② LIFEログの入力ワーク ・端末でスクールタクトを開き、「総合的な学習/探究 LIFEログ」の「12月」の課題にアクセスする。 ・本日2個目となる日々の気づきや学びのプロセスについて、4～5行を目安に入力する。	・文字サイズの変更はせず、リアルな気づきを豊富に溜めておくよう改めて伝える。
15分	③ プラン発表(1分プレゼン) ・各チーム、誰が発表するか、役割を確認し、原稿の最終確認を行う。 ・各チーム1分で「解決したい課題」と「解決策」をクラスの前で発表する。 ・聞く生徒は、「そのアイデアの根拠は?」「どんな問題を解決する?」という視点を持って傾聴する。	・時間を厳守させ、テンポよく全チームの発表を回す。 ・教員は各チームの発表に対して、「現地の制約条件をクリアしているか」「論理の筋道が通っているか」などの観点から即時フィードバックやアドバイスを行う。
25分	④ 探究計画書の作成(転記とリライト) ・Google Classroomから各自のチームの「探究計画書」にアクセスする。 ・前回の「プラン構想シート」を参考にしな	・単なる「モノ作りの計画」ではなく、「なぜそのアプローチが課題解決に有効なのか」を論理的に説明させるよう机間巡視で指導する。

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
	がら、以下の項目を入力・加筆する。 【1】チーム情報 【2】背景(前回の①現実を転記・加筆) 【3】目的・意義(前回の②理想+③課題を転記・加筆) 【4】作品の概要(前回の④解決策を転記し、具体化)	・【4】作品の概要では、あらすじやルール、構成だけでなく、郵送時を考慮したサイズ・分量・材質などを誰が見てもイメージできるよう具体的に書き込ませる。
10分	休み時間	・教員は、後半の活動に向けて生徒の進捗状況を確認する。
【2時限目】		
50分	⑤ 問い立て・情報収集と制作準備リストの作成 ・前半の発表や教員のアドバイスを踏まえ、計画書の【5】～【6】をチームで記入する。 ・【5】問いを立て、情報を集めよう： 制作に必要な知識や方法(作り方、仕組みなど)について「問い」を立てて検索し、答えと引用元URLを記録する。 ・【6】制作準備リスト： 必要な材料を書き出し、4つの調達区分(A:学校にある、B:個人持参、C:収集依頼、D:購入依頼)に分類する。	・【5】では単なる思い込みではなく、Web検索等の確かな情報源を基にした「根拠ある作り方」を調べさせる。 ・現地へ郵送する観点から「成果物を小さめに作る」という現実的な制約条件をクリアできているか、各チームの計画を厳しくチェックする。 ・【6】の材料リストでは「紙」などと曖昧に書かせず、大きさや厚さまで具体的にイメージさせる。 ・「D:購入依頼」がある場合は、教員が「購入してほしいもののリスト」にその理由と合わせて集約・入力を行う。 ・次時からのスムーズな制作開始に向けて、全員の持ち物・役割分担が確定しているか確認して終了する。